第１学年　松・竹・梅組　　算数科『１年のまとめ』略案

指導者　土田　亮輔（Ｔ１）　杉山　　徳子（Ｔ２）
佐々木智子（Ｔ３）　大須賀　章子（Ｔ４）
土倉　新也（Ｔ５）

１．日時　　３月　９日（木）　２校時（９：２０～１０：０５）

２．ねらい　１年生で習った学習内容の習熟を図る。

３．本時の実際

時　間	学　習　活　動　と　児　童　の　動　き	教　師　の　支　援　及　び　評　価（◎評価）	センターの先生の支援
９：２０	１．本時のめあてを確認する。 １年のべんきょうをしっかりみにつけよう。	○前時の学習の習熟度を把握し，あらかじめ問題作りコースから始める子どもを決定しておく。 ○すぐにプリント学習に取り組めるように場を準備しておく。	○挨拶と自己紹介をする。
９：２５	２．コース別に問題に取り組む。	☆足し算・引き算Ⅰコース　【２５人程度】（Ｔ１担当） ☆足し算・引き算Ⅱコース　【２５人程度】（Ｔ２担当） ☆問題づくりコース　【１３人程度】（Ｔ３・Ｔ５担当） ☆かずの問題コース　【２５人程度】（Ｔ４担当） ・各コースで文章問題のプリントを準備する。（難易度に差のある問題を用意する） ・児童が自ら学習を進めることができるように，学習チェックカードを準備する。 ・机間巡視をしながら躓きが見られる児童の支援に当たる。 ◎各コースで用意したプリントの問題を正しく解くことができる。	☆問題づくりコース　（ＴＴ） ・求大・求小の問題づくりができる場面の絵を準備する。 ・児童が作った問題を見て，必要な数字や適切な言葉がきちんと使われているかチェックする。 ・問題を見せに来た児童に対して賞賛したり，助言を与えたりする。 ◎場面の絵を見て，正しく問題づくりができる。
１０：００	３．本時の振り返りをする。	・がんばりが認められる子どもの振り返りを選び，発表の指名をする。	・感想や助言を話す。